

# 形成外科

## 〔到達目標〕

### ■概要

形成外科は外科系診療科の中の一専門分野である。一般に「外科系診療科」は、(1) 生命を救うこと（救命）、(2) 痛みを除去すること（除痛）、(3) 機能を回復すること（機能回復）、加えて(4) 社会生活の質（QOL: quality of life）を向上させることを目的に、手術的治療を行います。この中で、形成外科は主として、機能回復と QOL の向上を目的とする専門外科です。形成外科には大別して二つの専門領域があります。一つは、組織の異常、変形や欠損などの「疾患」を治療対象とする「再建外科」であり、もう一つは、疾患とは言えないが、ご自身が大変気にしている微妙な形状を治療対象とする「美容外科」です。再建外科は「生まれつきの、または怪我や癌などで変形したり失われた体の表面や骨の異常を、機能の回復のみならず形も正常に近い状態に再建し、QOL の向上に貢献する」専門領域です。また、「美容外科」は、客観的には病気と認められない細微な形態変化を外科的に修復して、生活の満足度を向上させる専門分野と言えます。初期研修では、再建外科を中心に研修します。

形成外科は、特定の臓器（呼吸器外科、脳神経外科など）の病気を治療対象とする外科ではなく、全身のあらゆる部位の異常や形態変化を治療対象としていますので、他の診療科と多くの境界領域を持っています。その中で、さまざまな外科治療学を学ぶ診療科です。初期の短期研修では、形成外科の 8 大治療法を学びます。

1. 創傷治療
2. 皮膚表面形成術
3. 縫縮術
4. 植皮術（遊離植皮術、皮弁術）
5. 皮膚以外の組織移植術（真皮、脂肪、筋膜、筋肉、骨、軟骨など）
6. プロテーゼ
7. 化粧法
8. 組織再生治療

上記の 8 大治療法の中で、特に 1. 創傷治療と 3. 縫縮術と 4. 植皮術の理解に重点をおきます。

### ■GIO（一般目標）

- A. 形成外科の基本手技を学ぶ。  
創傷処置、縫合術、植皮術および皮弁形成術
- B. 顔面外傷および熱傷のプライマリー処置を学ぶ。
- C. 形成外科手術書（基礎編）を読む。

### ■SBOs（行動目標）

- 1) 形成外科疾患の受持医となり、病歴と身体所見、プログレスノート、退院時サマリーを正確に電子カルテに記載できる。特に形成外科においては臨床写真は重要であり、デジタルカメラを用いた正しい写真撮影ができる。
- 2) 患者の問題点を同定でき、診断および手術適応決定のための治療計画を立案できる。
- 3) 手術適応と術式の選択を正しく述べるができる。
- 4) 術創部の適切な処置および抜糸時期を理解し実施できる。
- 5) 局所麻酔、簡単な伝達麻酔が実施でき、外傷創部の適切な scrubbing & debridement が行え、皮膚総合が行える。

- 6) 顔面多発外傷、全身熱傷などの重篤な疾患の初期対応ができる。
- 7) 模擬血管を用いて、顕微鏡下に血管吻合ができる。
- 8) 主治医として患者、家族との信頼関係を重視し、入院中の治療が行え、さらに comedical staff とのチームワークを円滑に行うことができる。
- 9) 学術活動(学会発表 1 回)が適切にできる。

**【週間予定表】**

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月	病棟業務	外来					手術	病棟業務		
火	形成外科回診		褥瘡回診				外来			
水	病棟業務	足外来					足外来			
		(装具外来)					(装具外来)			
木	病棟業務	手術								
金	病棟業務	外来					手術	病棟業務		
土	(休診)									

**■ Ev (評価)**

自己評価：EPOC による形成的評価

指導医による評価：EPOC による形成的評価と総括的評価

看護部、コメディカル等による 360° 評価：独自形式による形成的評価